

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社恵比寿不動産鑑定
渋谷(都)5-17	東京都	区部第3	氏名	不動産鑑定士 福元 優貴
鑑定評価額	778,000,000 円	1㎡当たりの価格	7,550,000 円/㎡	

## 1 基本的事項

(1) 価格時点	令和 7年 7月 1日	(4) 鑑定評価日	令和 7年 7月 2日	(6) 路線価	[令和 7年 1月]	5,860,000 円/m <sup>2</sup>
(2) 実地調査日	令和 7年 6月 16日	(5) 価格の種類	正常価格		路線価又は倍率 倍率種別	倍
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

## 2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	①所在地及び地番並びに 「住居表示」等		渋谷区神宮前六丁目7番10 「神宮前6-7-3」				②地積 (㎡)		103 ( )		⑨法令上の規制等	
	③形状	④敷地の利用の現況	⑤周辺の土地の利用 の状況	⑥接面道路の状況	⑦供給 処理施設 状況	⑧主要な交通施設との 接近の状況		近商 (80, 300) 準防 高度(3種最高20m)				
	1.2:1	店舗 S3	アパレル関連の店舗 等が建ち並ぶ商業地 域	南東8.4m区道、 背面道	水道、 ガス、 下水	明治神宮前 300m		(その他) 地区計画 (90, 300)				
(2) 近隣 地域	①範囲		東 10 m、西 13 m、南 50 m、北 0 m			②標準的使用		中層店舗地				
	③標準的画地の形状等		間口 約 8 m、奥行 約 12.5 m、規模			100 ㎡程度、形状 長方形						
	④地域的特性	特記 事項	特記すべき事項はない		街 路	南東8.4m区道	交通 施設	明治神宮前駅 南東方300m		法令 規制	近商 高度(3種最高20m) 地区計画 (90, 300) 準防	
	⑤地域要因の 将来予測		キャットストリート沿いに若年層や外来客向けの店舗等が連たんする商業地域で、当面は現状を維持すると予測する。									
(3)	最有効使用の判定						中層店舗地		(4)対象基準地 の個別的要 因			
(5)	鑑定評価の手法 の適用		取引事例比較法		比準価格		7,970,000 円/㎡		二方路 敷地後退		+1.0 -1.0	
			収益還元法		収益価格		7,160,000 円/㎡					
			原価法		積算価格		／ 円/㎡					
			開発法		開発法による価格		／ 円/㎡					
(6)市場の特性			同一需給圏は渋谷区及び隣接区の中低層店舗が建ち並ぶ繁華な商業地域と判定した。需要者は商業ビルデベロッパー、収益事業目的の不動産業者、投資家、自社利用目的の一般法人等が想定される。インバウンドは堅調に成長し、特に訪日外客から人気の高い観光エリアでは店舗出典ニーズが高まっているため、これらの適地に対する需要は底堅く推移している。市場の中心価格帯は対象基準地と同規模で㎡当たり700万円～900万円である。									
(7)試算価格の調整 ・検証及び鑑定 評価額の決定の 理由			需要者は投資採算性や収益性を重視して意思決定を行う傾向が強く、将来の収益予測に限界はあるものの収益価格の取得性が認められる。一方で比準価格は現実の市場で成立した取引事例を根拠に、需要者が求める収益性等の視点も反映しているため客観的且つ実証性が高い価格である。よって両価格の規範性は同等と判断してこれらを関連付け、さらに指定基準地との均衡にも留意して鑑定評価額を上記の通り決定した。									
(8) 公示 規格 と し た 価 格	① <input type="checkbox"/> 代表標準地 <input checked="" type="checkbox"/> 標準地 標準地番号 渋谷5-32		②時点 修正	③標準化 補正	④地域要 因の比 較	⑤個別的 要因の 比較	⑥対象基準地 の規準価格 (円/㎡)	⑦内 訳 標準化 補正	街路 0.0	地域 要因	街路 -2.0	
	公示価格 11,700,000 円/㎡		$\frac{[108.8]}{100}$	$\frac{100}{[100.0]}$	$\frac{100}{[168.9]}$	$\frac{[100.0]}{100}$	7,540,000		交通 0.0		交通 +2.0	環境 +69.0
(9) 指定 から の 検 討 基 準 地	①指定基準地番号 渋谷(都)5-5		②時点 修正	③標準化 補正	④地域要 因の比 較	⑤個別的 要因の 比較	⑥対象基準地 の比準価格 (円/㎡)	⑦内 訳 標準化 補正	街路 0.0	地域 要因	街路 +5.0	
	前年指定基準地の価格 8,040,000 円/㎡		$\frac{[115.4]}{100}$	$\frac{100}{[102.0]}$	$\frac{100}{[120.6]}$	$\frac{[100.0]}{100}$	7,540,000		交通 0.0		交通 0.0	環境 -13.0
(10) 対 象 基 準 地 の 前 年 標 準 価 格 等 か ら の 検 討	①-1 対象基準地の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 前年標準価格 6,660,000 円/㎡			③ 変 動 状 況 形 成 要 因 の 変 動 率	[ 一般的 要 因 ] 景気は雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあり 穏やかな回復が続いているが、海外景気の下振れ等には留意 する必要がある。							
	①-2 基準地が共通地点(代表標準地等と 同一地点)である場合の検討 <input type="checkbox"/> 代表標準地 <input type="checkbox"/> 標準地 標準地番号 公示価格 円/㎡				[ 地 域 要 因 ] 集客力の高い中低層店舗ビルが連たんする商業地域である。 収益性に基づき取引される不動産の地価は上昇基調で推移し ている。							
	②変動率 年間 +13.4 % 半年間 %				[ 個別的 要 因 ] 個別的要因に変動はない。							